令和元年11月1日
宮崎県児湯農林振興局

～発生警戒～

かんしょ基腐病の発生について

西都・児湯地域管内でかんしょ基腐病が初めて発生しました。

新病害で防除体系が確立されていないので、すみやかに蔓延防止の対策を行ってください。

① 作付中のほ場に病害の発生がないか確認してください。

【症状】・地際部の茎、及び茎に近い部分の塊根が腐敗します。
・被害が進行すると、茎の上部及び塊根全体に腐敗が広がり、乾燥して硬くなり、株が枯死します。

【宿主】・ヒルガオ科植物全般

茎葉の坪枯れ

地際部の茎の腐敗

塊根の腐敗

② 基腐病が発生している場合の対応

1）病害が広がる前に、感染した株をほ場外に持ち出してください。

ほ場の一部で発生の場合、株ごと（芋を含む）持ち出し、ほ場外（周囲にかんしょ圃場や水路がない場所）で腐熟させてください。

【注意点】抜き取る際は肥料袋等を感染株近くまで持っていき、植物体や土を周辺に落とさない。

※今後、大規模発生が懸念される場合は、別途、対策方法をアナウンスします。

2）感染株以外の残さも、確実に腐熟させてください。

・発生箇所周辺の残さや土中には、病原菌が存在する可能性があります。
・収穫後、残さの腐熟促進のため、**浅めに耕耘**※を３回以上行ってください。

【注意点】分解されていないうちに深く耕耘すると、酸素が残さに届かず、腐熟が進みにくくなります。

・分解促進資材の利用もご検討ください。【例】分解ヘルパー、石灰窒素

○ 発生ほ場で使用した長靴や機械等は、しっかり洗浄してください。

（裏面に続く）

③ 次作の育苗について

1）種芋は、病害が発生していないほ場で採種してください。

【採種時のポイント】

〇種芋を確保できない場合は、ウィルスフリー苗から育苗し採苗する。
〇種芋を収穫、貯蔵するコンテナは、洗ってきれいに乾かしたものを使う。
〇複数の畑から種芋をとる場合は、ほ場ごとに区別しておく。

2）種芋や苗を購入する場合、基腐病の感染のおそれのない健全なものを購入してください。

3）その他の育苗時の対策

- □ 苗床の土壌消毒
  クロルピクリン、バスアミド、キルパー　等
- □ 種芋の洗浄・選別
- □ 種芋の消毒
- □ 採苗した苗の消毒
- □ 作業靴の消毒槽設置、器具消毒の実施

④次作の作付ほ場について

・基腐病が発生したほ場では、次年のかんしょの作付けを避けてください。どうしても作付けする必要がある場合は、以下の対策を行ってください

- □ 本ぽの土壌消毒
  クロルピクリン、バスアミド、キルパー　等
- □ 排水性・透水性の改善
  明きょの設置、勾配の改善、プラソイラ等による耕盤破砕　等

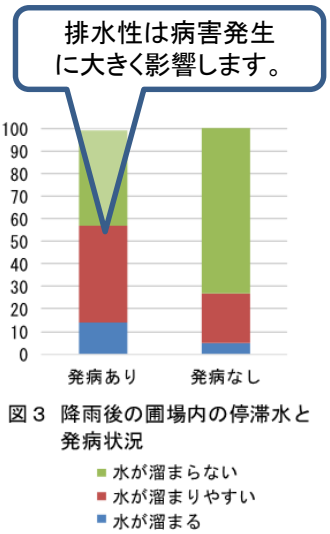

図３ 降雨後の圃場内の停滞水と発病状況

◎ 農薬の使用前には必ずラベル記載の内容を確認し、登録内容どおりに使用して下さい

◎ 不明な点があればお問合せください。

【お問合せ】宮崎県児湯農業改良普及センター　電話:0983-43-2311